

平成 22 年 国 勢 調 査

人 口 等 基 本 集 計 結 果

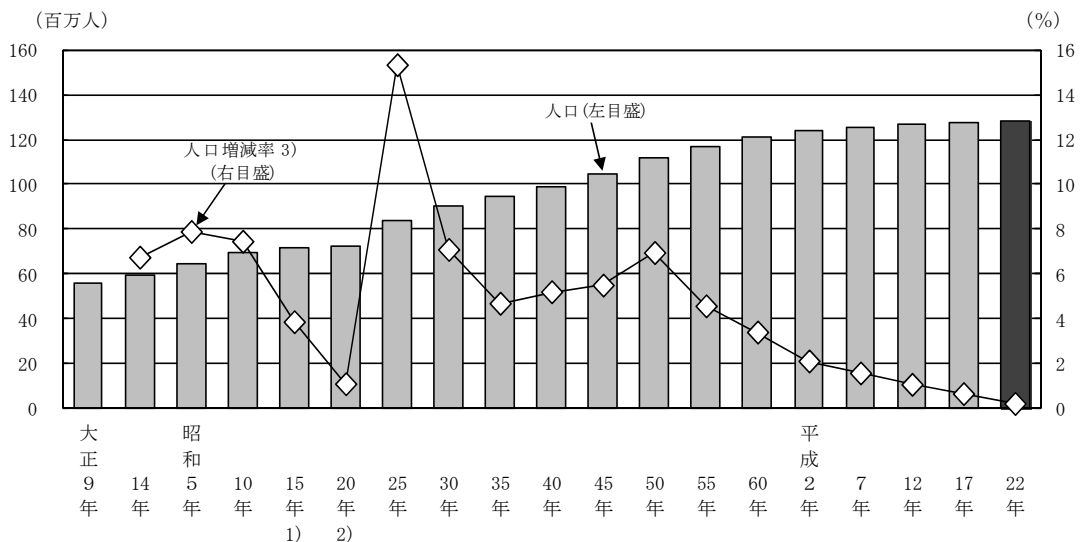
要 約

人口総数及び男女別人口

- 我が国の確定した人口は1億 2805 万 7352 人(平成 22 年 10 月 1 日現在)
- 平成 17 年から横ばいで推移(年平均 0.05%増, 平成 17 年から 0.2%増)

- ・ 平成 22 年 10 月 1 日現在の我が国の確定した人口は1億 2805 万 7352 人, 平成 17 年～22 年は横ばい(年平均 0.05%増, 平成 17 年から 0.2%増と調査開始以来最低の人口増加率)
- ・ 総人口を男女別にみると, 男性が 6232 万 7737 人(総人口の 48.7%), 女性が 6572 万 9615 人(同 51.3%)
- ・ 日本人人口は1億 2535 万 9 千人, 平成 17 年～22 年は横ばい(年平均 0.06%減, 平成 17 年から 0.3%減)
- ・ 外国人人口は 164 万 8 千人, 平成 17 年～22 年は増加(年平均 1.16%増, 平成 17 年から 5.9%増)

人口の推移—全国(大正 9 年～平成 22 年)



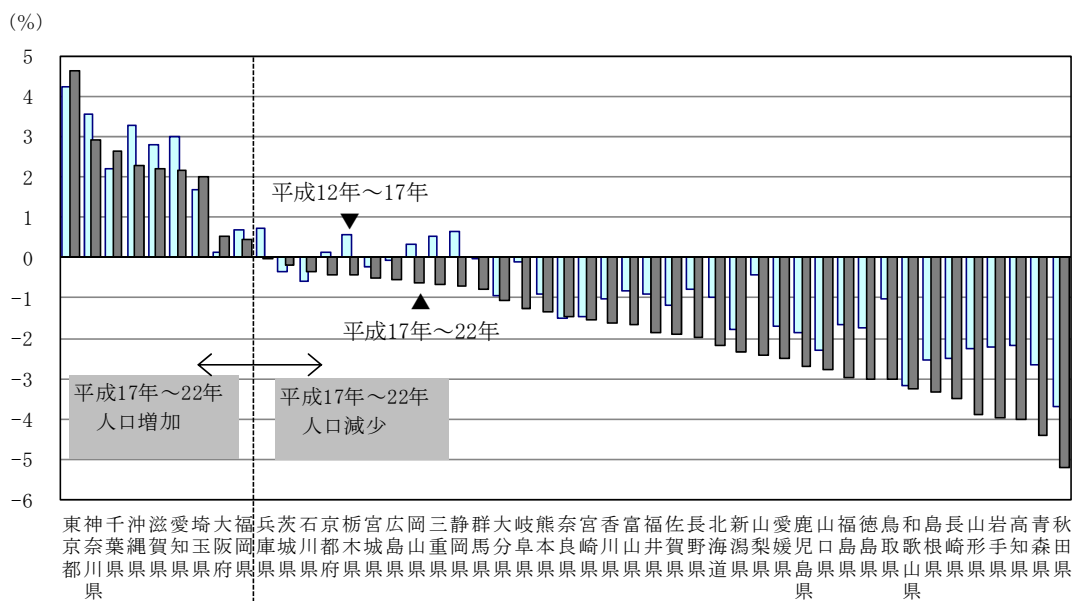
(注) 昭和 20 年は人口調査結果による。

- 1) 国勢調査による人口 73114 千人から内地外の軍人, 軍属等の推計数 1181 千人を差し引いた補正人口。
- 2) 昭和 20 年人口調査による人口 71998 千人に軍人及び外国人の推計数 149 千人を加えた補正人口。沖縄県を除く。
- 3) 昭和 20 年及び 25 年の人口増減率は沖縄県を除いて算出。

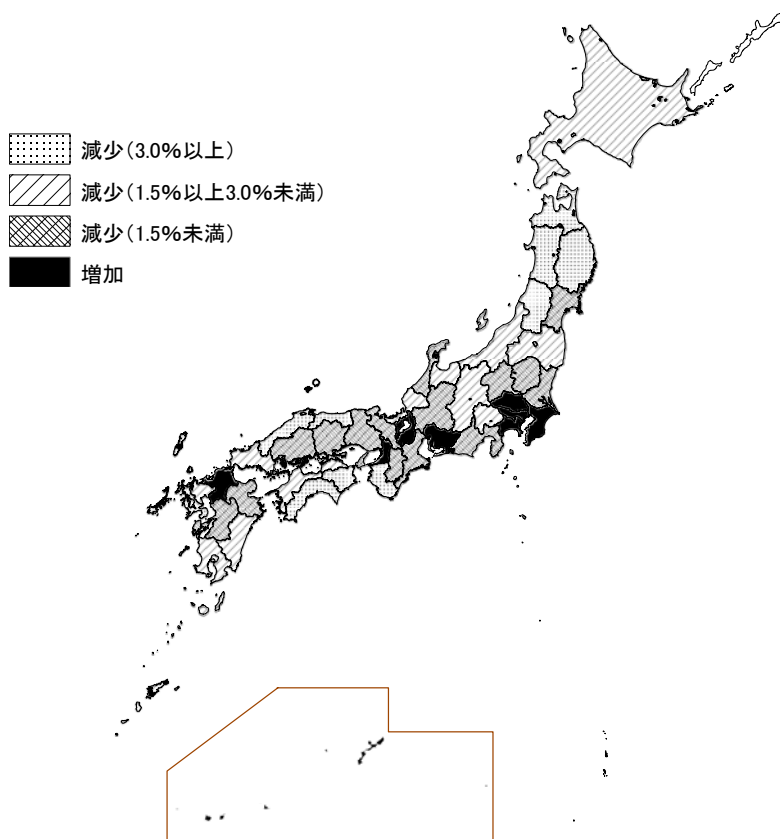
○ 東京都, 神奈川県, 千葉県など9都府県で人口増加, 38道府県で減少

- 人口増加率は東京都が4.6%と最も高く, 次いで神奈川県(2.9%), 千葉県(2.6%)など, 9都府県で人口増加
- 人口減少率は秋田県が5.2%と最も高く, 次いで青森県(4.4%), 高知県(4.0%)など, 38道府県で人口減少

都道府県別人口増減率 (平成12年~17年, 平成17年~22年)



都道府県別人口増減率 (平成17年~22年)

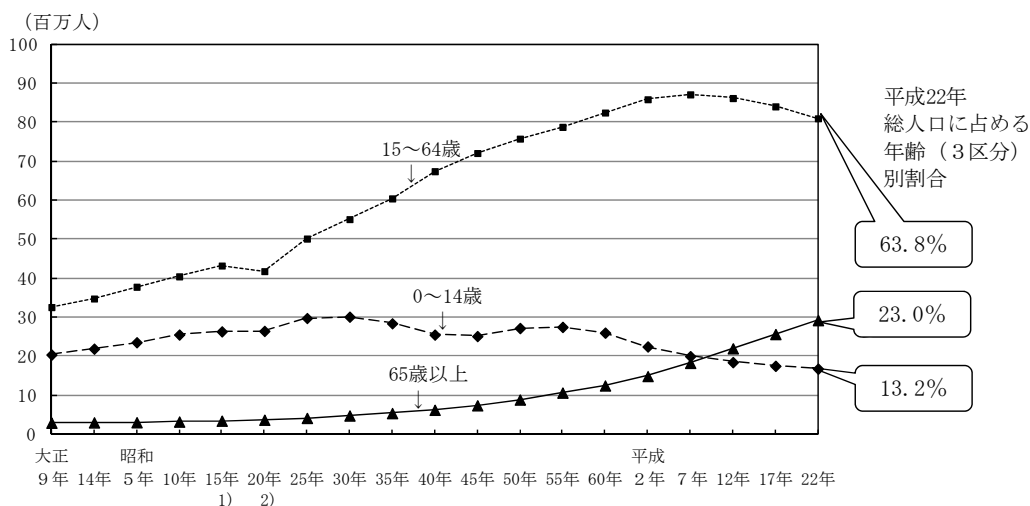


年齢別人口

- 65歳以上人口は13.9%増、総人口に占める割合は20.2%から23.0%に上昇
- 15～64歳人口は3.6%減、割合は66.1%から63.8%に低下
- 15歳未満人口は4.1%減、割合は13.8%から13.2%に低下

- ・ 15歳未満人口は1680万3千人（総人口の13.2%）、15～64歳人口は8103万2千人（同63.8%）、65歳以上人口は2924万6千人（同23.0%）
- ・ 平成17年と比べると、15歳未満人口は71万8千人（4.1%）減、15～64歳人口は306万1千人（3.6%）減、65歳以上人口は357万4千人（13.9%）増

年齢（3区分）別人口の推移—全国（大正9年～平成22年）



(注) 昭和20年は人口調査結果による。

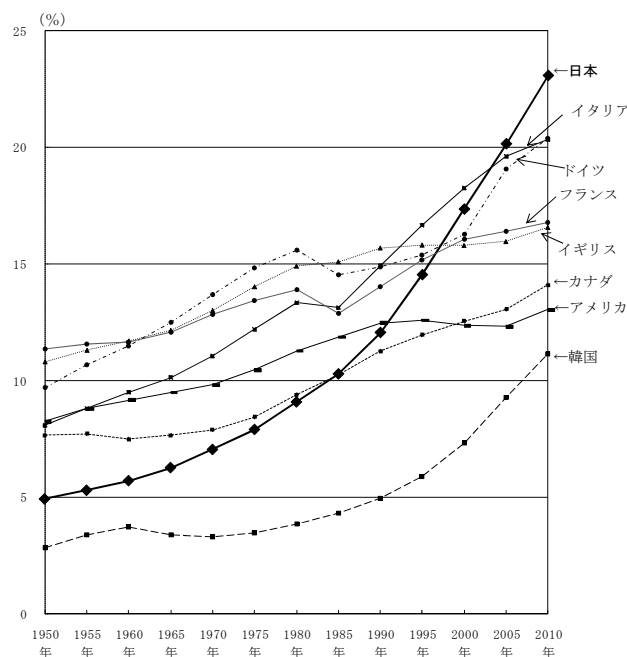
1) 朝鮮, 台湾, 樺太及び南洋群島以外の国籍の外国人 (39,237人) を除く。

2) 沖縄県を除く。

○ 65歳以上人口の割合は世界で最も高い水準

- ・ 総人口に占める65歳以上人口の割合を諸外国と比べると、我が国はドイツ及びイタリア（共に20.4%）を上回り、世界で最も高い水準

65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2010年）

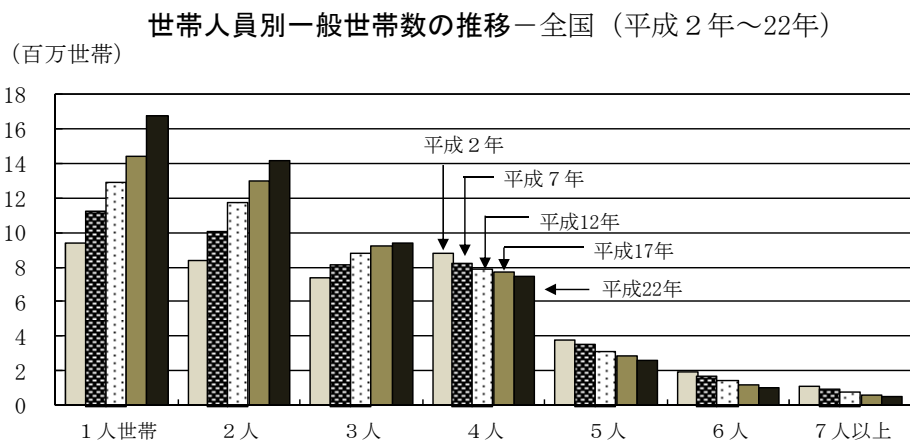


資料: United Nations, "World Population Prospects, The 2010 Revision"による。
ただし、日本は国勢調査の結果による。

世帯の状況

- 我が国の確定した世帯数は 5195 万 504 世帯(平成 22 年 10 月 1 日現在)
- 一般世帯数は 5184 万 2 千世帯と調査開始以来初めて 5000 万世帯を超えた
- 世帯人員が 1 人の世帯が 1678 万 5 千世帯と最も多く、一般世帯の 3 割を超える

- ・ 平成22年10月1日現在の我が国の確定した世帯数は5195万504世帯、平成17年～22年は4.8%増加
- ・ 一般世帯数は5184万 2 千世帯、調査開始以来初めて5000万世帯を超えた
- ・ 1人世帯が1678万 5 千世帯（一般世帯の32.4%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっている
- ・ 世帯人員が 3 人以下の世帯は増加、4 人以上の世帯は減少



- 「一人暮らし 65 歳以上人口」は 479 万 1 千人, 65 歳以上人口の 16.4%
- 65 歳以上男性の 10 人に 1 人, 65 歳以上女性の 5 人に 1 人が一人暮らし

- ・ 65歳以上人口のうち、単独世帯で暮らす者（一人暮らし65歳以上人口）（479万 1 千人）が65歳以上人口に占める割合を平成7年以降についてみると上昇が続く
- ・ 「一人暮らし65歳以上人口」は、65歳以上男性の10人に 1 人（65歳以上男性の11.1%）、65歳以上女性の 5 人に 1 人（65歳以上女性の20.3%）
- ・ 老人ホーム等の「社会施設の入所者」は120万 1 千人、平成17年の1.5倍

世帯の種類, 男女別65歳以上人口の推移—全国（平成 7 年～22年）

男女, 年次	実数 (千人)				割合 (%)			
	65歳以上人口	うち 単独世帯	うち 社会施設の 入所者	うち 病院・療養所の 入院者	65歳以上人口	うち 単独世帯	うち 社会施設の 入所者	うち 病院・療養所の 入院者
総数								
平成 7 年	18,261	2,202	326	429	100.0	12.1	1.8	2.3
12 年	22,005	3,032	485	528	100.0	13.8	2.2	2.4
17 年	25,672	3,865	826	539	100.0	15.1	3.2	2.1
22 年	29,246	4,791	1,201	449	100.0	16.4	4.1	1.5
男								
平成 7 年	7,504	460	81	134	100.0	6.1	1.1	1.8
12 年	9,222	742	113	164	100.0	8.0	1.2	1.8
17 年	10,875	1,051	192	177	100.0	9.7	1.8	1.6
22 年	12,470	1,386	280	161	100.0	11.1	2.2	1.3
女								
平成 7 年	10,757	1,742	244	295	100.0	16.2	2.3	2.7
12 年	12,783	2,290	371	364	100.0	17.9	2.9	2.8
17 年	14,797	2,814	634	362	100.0	19.0	4.3	2.4
22 年	16,775	3,405	921	287	100.0	20.3	5.5	1.7

(注1) 総数に不詳を含んでいることがあるため、内訳の合計が総数に一致しないことがある。
(注2) 割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出している。また、過去の割合も同様の方式で再計算している。